歳出予算事業概要書

款	02 総務費	補正前の額	補正後の額	各課要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	113000000							
項	01 総務管理費							所属課名	防災安全課							
目	01 一般管理費	2,033	4,033	2,000	2,000	0	0	内線番号								
大	045 自主防災組織育成事業							実施計画	部	ゆとりある心豊かな米子	実施計画計上額					
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『暮らし』がいいき						
小	00		0	0	0	2,000	0		節	魅力あふれる定住のまちづくり						
細	0		0	0	0	2,000	0		細節	災害に強い地域社会づくり						
1. 事業の概要と必要性 (事業概要) 自主防災組織育成の活性化及び育成、また自主的な防災活動の促進を図る。								節		本年度の財源内訳						
								区分	金額	財源	款	項目	節	細節	金額	
								11 需用費		諸収	21	04	03	03	028	2,000
								18 備品購入費			自治総合センター助成金					
								19 負担金補助及び交付	2,000							
2. 根拠法令 災害対策基本法第5条第1項・2項、第7条第2項																
3. 用地の状況																
4. 基本計画との関連																
5. 本年度の計画効果 ○加茂5区中自治会防災会 (現状) 地域内に狭小道路が多く、消防活動に支障をきたす地域であり、また、近年、高齢化による高齢者や女性でも扱える防災資機材を整備することが急がれる。 (効果) 軽量で使用しやすい資機材を整備することにより、地区の防災力の向上が図られる ○和田1区防災会 (現状) 地域内に狭小道路が多いため、緊急車輛の進入できないことで初期消火時のポンプ搬送用の資機材や救急車までの負傷者搬送用資機材の確保が急がれる。 (効果) リヤカー及び担架等の確保により迅速なポンプ搬送、負傷者の搬送が容易になり、地区の防災力の向上が図られる。								6. 財源の説明 (財)自治総合センター助成金 ・加茂5区中自治会防災会 1,500,000円 ・和田1区防災会 500,000円 (参考) 自主防災組織数 139団体(平成21年4月15日現在)								
目的別																
性質別																

歳出予算事業概要書

款 項 目	02 総務費 01 総務管理費 01 一般管理費	補正前の額	補正後の額	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	113000000		
					うち復活額	一般財源	所属課名	防災安全課			
		0	6,416	6,416	6,416	0	0	内線番号			
大 中 小 細	事 業 業 業 業							108 洪水等ハザードマップ策定事業	00	00	0
1. 事業の概要と必要性		風水害等による警戒避難情報の防災情報を住民等に周知する為、河川の浸水想定区域等をマップ化し、それに警戒避難情報等を記載し、洪水等ハザードマップを作成し、風水害等による被害軽減に役立てる、また住民に防災意識の啓発を図る。			節			本年度の財源内訳			
2. 根拠法令 水防法15条					区分			金額			財源 款 項 目 節 細 節
3. 用地の状況		13 委託料			6,300			国庫 15 02 04 04 004			2,100
4. 基本計画との関連		18 備品購入費			116			都道 16 02 05 01 002			2,100
5. 本年度の計画効果		コンサルタントへ業務委託し、ハザードマップ策定に係る計画・調査・協議等を行い、当該ハザードマップを作成する。			6. 財源の説明			財源の説明 洪水ハザードマップ策定業務委託に対し、国1/3、県1/3補助			
目的別 性質別											

歳出予算事業概要書

款 項 目	02 総務費 01 総務管理費 01 一般管理費	補正前の額	補正後の額	各課 要求額	調整結果額		所属課コード	112000000				
					うち復活額	一般財源	所属課名	行政経営課				
		915	2,475	1,560	1,560	0	0	内線番号				
大 中 小 細	事 業 業 業 業							120 00 00 0	ふるさと納税推進事業	実施 計 画	部 章 節 細 節	みんなのための市役所 『市役所』がいきいき 市民に信頼される市役所づくり 市民との協働
1. 事業の概要と必要性 「ふるさと納税」をしていただいた方に対するお礼として、地元企業と連携し、地元特産品を贈呈する。 地元企業には、5,000円相当の商品を用意していただき、市からの情報により、ふるさと納税をされた方に、その商品を記念品として送付していただく。 商品の代金と送料を合計すると6,000円程度になるため、その費用を地元企業と市とで折半し、市が3,000円を負担する。					節		本年度の財源内訳					
					区分	金額	財源	款	項	目	節	金額
					4 共済費							
					7 賃金							
					9 旅費							
					11 需用費	60						
					12 役務費							
					19 負担金補助及び交付	1,500						
2. 根拠法令												
3. 用地の状況												
4. 基本計画との関連												
5. 本年度の計画効果 「ふるさと納税」をしていただいた方に対し、地元特産品を記念品として贈呈することで、地元特産品の広報宣伝の効果のほか、米子市に対してふるさと納税(寄附)をしようとする動機付けになることが期待できる。 記念品の市負担予算額 3,000円×500件=1,500,000円												
6. 財源の説明 すべて一般財源												
目的別 性質別												

歳出予算事業概要書

款	02 総務費	補正前の額	補正後の額	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	113000000			
項	01 総務管理費							所属課名	防災安全課			
目	01 一般管理費	0	6,200	6,200	6,200	0	0	内線番号				
大	126 災害時要援護者支援事業							実施 計 画	部	ゆとりある心豊かな米子	実施計画計上額	
中	00		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『暮らし』がいいき		
小	00	財源内訳							節	魅力あふれる定住のまちづくり		
細	0		0	0	0	0	6,200		細節	災害に強い地域社会づくり		0
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳				
<p>(事業の概要)自治会・民生委員・社会福祉協議会・自主防災組織・消防団などの住民と連携し、災害時要援護者(災害時における自力での避難行動が困難で何らかの支援を要する者)の把握、災害時の避難支援計画の作成及び同計画に基づく避難支援活動により、災害時における災害時要援護者への適切な支援を行い、災害時要援護者の生命、身体を保護するもの。</p> <p>(事業の必要性)近年発生した災害において、高齢者などの災害時要援護者が被災しているが、災害時に、市や消防・警察などの防災関係機関のみで災害時要援護者の避難活動支援を行うのは困難であり、市、防災関係機関、住民が連携して災害時要援護者の避難支援を行う制度、体制を整備する必要がある。</p>					区分		金額		財源		款 項 目 節 細節	金額
					13 委託料		6,200					
2. 根拠法令												
米子市地域防災計画												
3. 用地の状況												
4. 基本計画との関連												
5. 本年度の計画効果												
災害時要援護者に関する情報、必要な支援の態様、支援者に関する情報を登録する災害時要援護者台帳システムの整備を実施												
6. 財源の説明												
(財源内訳)												
すべて一般財源												
(事務事業評価)												
2次評価において「実施」												
目的別												
性質別												

歳出予算事業概要書

款 項 目	02 総務費 01 総務管理費 01 一般管理費	補正前の額	補正後の額	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	113000000	
					うち復活額	一般財源	所属課名	防災安全課		
		0	3,836	3,836	3,836	0	0	内線番号		
大 中 小 細	事 業 業 業 業							128 新型インフルエンザ対策事業	00	00
		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施計画計上額		
			3,836	0	0	0	0	0		
1. 事業の概要と必要性 新型インフルエンザは他の危機・災害事案と異なり、全国ほぼ同時発生するため他地域からの応援は期待できない。 大規模流行期、職員のり患欠勤による行政サービスの低下を可能な限り防ぎ、市民生活を支えていくための機能を維持するとともに市民配布用のマスクの備蓄等の防御策を講じる。					節 本年度の財源内訳			本年度の財源内訳		
					区分		金額		金額	
					11 需用費	3,836		国庫	15 02 01 01 010	3,836
									地域活性化・経済危機対策臨時交付金	
2. 根拠法令										
3. 用地の状況										
4. 基本計画との関連										
5. 本年度の計画効果 新型インフルエンザの主たる感染経路は飛沫感染であり、飛沫感染防止に効果の高いマスクを購入する。 また、接触感染による感染拡大防止策として、手指消毒薬を購入する。 サージカルマスク @7円×30万枚×1.05=2,205,000円 手指消毒薬(ポンプ式) @1,890円×600本×1.05=1,190,700円 配布用ビニール袋 @598円×700セット×1.05=439,530円					6. 財源の説明 (財源内訳) 地域活性化・経済危機対策臨時交付金 (事務事業評価) 2次評価において「実施」					
目的別 性質別										

歳出予算事業概要書

款 項 目	02 総務費 01 総務管理費 01 一般管理費	補正前の額	補正後の額	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	503000000		
					うち復活額	一般財源	所属課名	協働推進課			
		0	4,840	4,840	4,840	0	0	内線番号			
大 中 小 細	事 業 業 業 業							129 00 00 0	消費生活行政活性化事業	実施 計 画	部 章 節 細 節
1. 事業の概要と必要性				節			本年度の財源内訳				
事業の必要性 近年、消費生活相談業務の複雑化、高度化が進む中で、消費者行政一元化に伴う消費生活相談の範囲・分量の拡大が見込まれる。こうした環境変化に対応していくためには、早急に消費生活窓口の抜本的な強化策を集中的に講ずる必要がある。国においても今後3年程度を「集中育成・強化期間」と位置付けており、国の消費者行政活性化交付金により県において基金を造成、市町村消費者行政の活性化を図ることとしている。				区分			金額		財源 款 項 目 節 細 節		金額
事業の概要 複雑化する相談に対応するため、消費生活相談のスキルアップ研修への参加や、消費生活トラブルの早期解決や未然防止を図るため、相談室周知のための啓発・広報を充実させるとともに、庁内の相談体制を強化するための研修を開催する。				8 報償費			276		都道 16 02 01 01 041		4,840
				9 旅費			486		地方消費者行政活性化交付金		
				11 需用費			2,441				
				12 役務費			213				
				13 委託料			142				
				14 使用料及び賃借料			38				
				18 備品購入費			1,228				
				19 負担金補助及び交付			16				
2. 根拠法令 米子市消費生活条例、米子市消費生活条例施行規則											
3. 用地の状況											
4. 基本計画との関連											
5. 本年度の計画効果											
(1) 事業計画 消費者(市民向け)啓発の強化(講演会の開催、パネル作成展示) 米子市多重債務連絡会議関係課職員向け研修開催 相談員スキルアップのための研修派遣 相談室の周知のための広報											
(2) 事業効果 消費者相談体制が充実・強化され、市民生活の安全と向上を図ることができる。											
6. 財源の説明											
(1) 財源内訳 鳥取県市町村消費者行政活性化交付金(県10/10) 4,840,000 円											
目的別 性質別											

歳出予算事業概要書

款 項 目	02 総務費 01 総務管理費 09 企画費	補正前の額	補正後の額	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	501000000	
					うち復活額	一般財源	所属課名	総合政策課		
		2,480	4,791	5,225	2,311	0	0	内線番号		
大 中 小 細	事 業 目 録							実施 計 画	部 章 節 細 節	実施計画計上額
059	中海市長会							活力みなぎる米子	0	
00								『よなご』がいきいき		
00								交流と連携を育むまちづくり		
0								地域間交流の推進	0	
1. 事業の概要と必要性								本年度の財源内訳		
(1) 事業の概要 中海圏域の一体的な発展に向けた事業の推進や、行政上の共通課題について連絡調整を行うために中海市長会を組織し、共同事業を実施する。 圏域の将来像を示す「中海圏域振興ビジョン」の策定を行い、この中で「定住自立圏共生ビジョン」の必要要素を網羅する。 (2) 事業効果 「中海圏域振興ビジョン」を策定し、圏域の将来像を示す。										
2. 根拠法令										
3. 用地の状況										
4. 基本計画との関連										
5. 本年度の計画効果										
4月30日には定住自立圏構想の松江市・米子市「共同中心市宣言」を行った。 今年度は、圏域の総合計画といえる「中海圏域振興ビジョン」を作成するとともに、その中で定住自立圏構想要綱で定められた「定住自立圏共生ビジョン」についても明らかにしていく。 構成団体：境港市、松江市、安来市、米子市、東出雲町										
6. 財源の説明										
								中海圏域振興ビジョン 米子市定住自立圏構想推進基金		
目的別 性質別										

歳出予算事業概要書

款 項 目	02 総務費 01 総務管理費 09 企画費	補正前の額	補正後の額	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	501000000							
					うち復活額	一般財源	0	0	所属課名	総合政策課						
大事業 120 合併振興基金事業		704	500,704	500,000	500,000	0	0	内線番号								
中事業 00								財源内訳	0	0	475,000	0	25,000	実施 計画 細節	みんなのための市役所 『市役所』がいきいき 市民に信頼される市役所づくり 効率的な行政運営の推進	実施計画計上額 0
小事業 00																
細事業 0																
<p>1. 事業の概要と必要性</p> <p>地域における住民の連帯の強化及び旧市町単位での地域振興に資するため、合併特例債を利用して、基金を造成する。</p> <p>(合併特例債が利用できるのは合併後10年間で、本市の場合、特例債が利用できる基金造成額の上限は、21億4,000万円となっている。)</p> <p>年度別積立額は平成18年度に5億円、平成19年度に5億円、平成20年度に5億円、平成21年度に5億円、平成22年度に1億4,000万円とする。</p>					節		本年度の財源内訳									
					区分	金額	財源	款	項	目	節	金額				
					25	積立金	500,000	地方	22	01	07	01	010	475,000		
					合併振興基金積立事業											
<p>2. 根拠法令</p> <p>米子市合併振興基金条例</p> <p>3. 用地の状況</p> <p>4. 基本計画との関連</p> <p>5. 本年度の計画効果</p> <p>合併振興基金積立額 5億円</p>					<p>6. 財源の説明</p> <p>合併特例債 4億7,500万円(起債充当率95%) 元利償還金の70%を普通交付税措置</p>											
目的別 性質別																

歳出予算事業概要書

款 項 目	02 総務費 01 総務管理費 09 企画費	補正前の額	補正後の額	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	501000000		
					うち復活額	一般財源	所属課名	総合政策課			
		0	939,514	939,514	939,514	0	0	内線番号			
大 中 小 細	事 業 業 業 業	143 00 00 0	JR米子駅バリアフリー化推進事業	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施計画計上額	
				845,562	0	89,200	0	4,752		0	
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳			
1 事業の概要 JR米子駅は、鳥取県西部及び中海圏域の交通の要衝であるが、エレベーター、エスカレーターの設備がないため、高齢者や障がい者の利用が困難であり、設置を求める要望が強くある。平成20年度中に策定された、米子市交通バリアフリー基本構想の特定事業の一つにも位置付けられており、バリアフリー化を推進するため、JR西日本が国の補助を受けて実施するエレベーター設置事業及び市民からの強い要望を受けてJR西日本が実施するエスカレーター設置事業費に対し補助するもの。					区分		金額	財源		款 項 目 節 細 節	金額
					19	負担金補助及び交付	939,514	国庫	15 02 01 01 009	845,562	
								地方	22 01 07 01 017	89,200	
									地域活性化・公共投資臨時交付金 バリアフリー化推進事業		
2. 根拠法令 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）											
3. 用地の状況											
4. 基本計画との関連											
5. 本年度の計画効果 JR西日本が実施する米子駅構内のバリアフリー化推進事業											
					総事業費		うち米子市負担額				
エレベーター設置事業					851,613千円		283,871千円				
エスカレーター設置事業					655,643千円		655,643千円				
合計					1,507,256千円		939,514千円				
6. 財源の説明											
1 財源											
地域活性化・公共投資臨時交付金											
地方債											
目的別 性質別											

歳出予算事業概要書

款	02 総務費	補正前の額	補正後の額	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	501000000				
項	01 総務管理費							所属課名	総合政策課				
目	09 企画費	0	702	702	702	0	0	内線番号					
大 事業	147 移住定住推進事業							実 施 計 画	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額		
中 事業	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『よなご』がいきいき			
小 事業	00								節	交流と連携を育むまちづくり			
細 事業	0		0	0	0	0	702		細 節	地域間交流の推進		0	
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳					
<p>全国的に人口が減少傾向にある現在、人口の動向は地方自治体の「まちづくり」にも大きな影響を及ぼす。本市においても、平成19年度には予測より早い人口の減少が認められており、少子化対策だけでなく、移住定住の促進に取り組む必要がある。 相談窓口を設置し、(財)ふるさと鳥取県定住機構、NPOふるさと回帰支援センター、県外に出店している「食のみやこ鳥取県」推進サポーター等と連携をとりながら、都市部に居住している方をターゲットに、米子市についてのきめこまやかな情報の提供等を実施していく。</p>					区分		金額	財源	款	項	目	節	金額
					9 旅費		187						
2. 根拠法令					11 需用費		485						
					12 役務費		30						
3. 用地の状況					13 委託料								
					14 使用料及び賃借料								
4. 基本計画との関連					18 備品購入費								
5. 本年度の計画効果					6. 財源の説明								
<p>1 移住相談窓口の設置 2 移住定住パンフレットの作成及び配布 3 移住定住相談会への参加 4 移住希望者への体験事業として、「だんだんバス」乗車券の配布</p>					一般財源								
目的別 性質別													

歳出予算事業概要書

款	02 総務費	補正前の額	補正後の額	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	501000000					
項	01 総務管理費							所属課名	総合政策課					
目	09 企画費	0	297	356	297	0	0	内線番号						
大	148 定住自立圏構想関連事業							実 施 計 画	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額			
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『よなご』がいきいき				
小	00								節	交流と連携を育むまちづくり				
細	0		0	0	0	0	297		節	広域連携の推進		0		
1. 事業の概要と必要性								本年度の財源内訳						
1. 事業の概要 総務省では、「集約とネットワークの考え方」により、中心市と周辺市町村が協定に基づき相互連携する「定住自立圏構想」を提唱し、松江市、境港市、安来市、東出雲町、米子市で構成する圏域が先行実施団体として指定された。(平成20年10月) 松江市及び米子市が中心市となり、平成21年度中の定住自立圏の協定締結を目指すとともに、「交通・観光分野における総合的・一体的な取組(観光施設をつなぐ交通網の充実)」等を進めていく。								節		本年度の財源内訳				
								区分	金額	財源	款	項目	節	金額
								9 旅費	297					
								11 需用費						
2. 根拠法令														
3. 用地の状況														
4. 基本計画との関連														
5. 本年度の計画効果														
1 安来市と米子市との県境を越えた公共下水道整備														
2 境港市と米子市との市域を越えた公共下水道整備														
3 公共施設の市外料金区分の撤廃(4市1町)														
4 保育所の広域入所情報の共有化(4市1町)														
5 図書館ネットワーク事業(4市1町)														
6 自治体の区域を越えたコミュニティバスの運行(松江市、境港市)														
7 自治体間の職員交流(4市)														
8 防災訓練の実施(災害時相互応援はH19.3.1協定済 4市1町)														
9 障害者雇用ネットワーク(松江市、安来市、東出雲町)														
6. 財源の説明								一般財源						
目的別														
性質別														

歳出予算事業概要書

款	02 総務費	補正前の額	補正後の額	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	1002000000					
項	01 総務管理費							所属課名	環境政策課					
目	13 公害対策費	0	340	4,394	340	0	0	内線番号						
大 事業	010 環境基本計画策定事業							実施計画計上額						
中 事業	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 計 画	部	ゆとりある心豊かな米子	0			
小 事業	00		0	0	0	0	340		章	『自然』がいきいき				
細 事業	0		0	0	0	0	0		節	人と自然が共生するまちづくり				
								節	本年の財源内訳					
								区分	金額	財源	款 項 目 節 細節	金額		
1. 事業の概要と必要性 米子市環境基本条例第8条において、「米子市環境基本計画」を定めることが規定されている。 環境基本計画は、今日の複雑・多様化する環境問題に対応するため、市民、事業者、行政の取り組むべき基本理念を立て、これに基づきそれぞれが適切な役割分担で環境問題に対応するとともに、これまで別々に環境問題に対処してきた環境施策を総合的・計画的に実施するための計画であり、環境分野の総合計画と言えるものである。														
2. 根拠法令 米子市環境基本条例第8条														
3. 用地の状況														
4. 基本計画との関連														
5. 本年度の計画効果 策定にあたっては、市民、事業者、環境NPO、行政（（仮称）米子市環境基本計画策定協議会：委員数各主体2人予定）の協働により素案を策定し、この素案を市役所内部での検討及び米子市環境審議会において審議をしていただくものとする。 また、本市の環境現状及び市民、事業者の環境意識等についてのアンケート調査等を踏まえ、課題調整、計画骨子、環境施策の検討を行い、2ヶ年程度で策定するものとする。														
6. 財源の説明 ア. 財源内訳 一般財源 イ. 事務事業評価の反映状況 実施														
目的別 性質別														

歳出予算事業概要書

款	02 総務費	補正前の額	補正後の額	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	1002000000							
項	01 総務管理費							所属課名	環境政策課							
目	13 公害対策費	0	191	191	191	0	0	内線番号								
大	057 ラムサール条約登録湿地推進事業							実 施 計 画	部	ゆとりある心豊かな米子	実施計画計上額					
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『自然』がいきいき						
小	00								節	人と自然が共生するまちづくり						
細	0		0	0	0	191	0		節	豊かな自然環境の保護と活用						
1. 事業の概要と必要性 中海が国際的に重要な湿地としてH17.11.8にラムサール条約登録湿地に登録されたこと に関連して、市内の小中学校の教員に対してラムサール条約の趣旨を中心とした指導者養 成講座を開催することで、本条約の趣旨である「中海の自然環境保全」及び「中海の賢明 な利用（ワイズユース）」の一層の推進を図る。 将来の環境保全を担う子どもたちの環境意識の向上及び行動化において、小中学校の教 員の関わりは不可欠であり、中海を中心とした今後の米子市の環境保全の推進に寄与す るものである。								本年度の財源内訳								
								区分	金額	財源	款	項	目	節	金額	
								8 報償費	28	繰入	19	01	01	19	001	191
								11 需用費	163							
								13 委託料								
								19 負担金補助及び交付								
2. 根拠法令								6. 財源の説明 がいなよなご応援基金								
3. 用地の状況																
4. 基本計画との関連																
5. 本年度の計画効果 1 事業計画 (1) 小中学校の教員を対象とした指導者養成講座を開講する。 (講師は、米子水鳥公園友の会会員等) (2) ラムサール条約登録湿地啓発資料の作成 2 事業効果 小中学生を含めた市民の中海に対する環境保全意識の向上と米子市に対する愛着の深 まりを醸成することが見込まれる。																
目的別 性質別																

歳出予算事業概要書

款	02 総務費	補正前の額	補正後の額	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	1002000000		
項	01 総務管理費							所属課名	環境政策課		
目	13 公害対策費	0	2,400	2,400	2,400	0	0	内線番号			
大	060 地球温暖化対策事業							実 施 計 画	部	ゆとりある心豊かな米子	実施計画計上額
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『自然』がいきいき	
小	00			1,600	0	0	800		節	人と自然が共生するまちづくり	
細	0		0		0	0			細節	豊かな自然環境の保護と活用	
1. 事業の概要と必要性							節		本年度の財源内訳		
地球温暖化対策として、省エネルギー対策の一環である新エネルギーの導入促進を図るべく、市民を対象とした新エネルギー設置費の一部助成を行う。 温室効果ガスの排出量削減について閣議決定を行った京都議定書の目標値達成の約束期限である2012年度を目前とした現在、目標達成が危ぶまれる状況にある。特に民生(業務・家庭)部門においては国もその対策強化を急いでおり、地方自治体においても早急な対応が求められているところである。		区分		金額		財源		款 項 目 節 細節		金額	
		11 需用費			都道	16 02 01 01 042	1,600				
2. 根拠法令				12 役務費				住宅用太陽光発電導入促進事業補助			
3. 用地の状況				15 工事請負費							
4. 基本計画との関連				18 備品購入費							
5. 本年度の計画効果				19 負担金補助及び交付	2,400						
(1) 事業計画 自ら居住する市内の住宅(店舗兼併用住宅を含む)に太陽光発電システムを設置する者に対し、1kw当たり3万円(上限12万円)を補助する。				6. 財源の説明							
				住宅用太陽光発電導入促進事業補助金 導入経費支援補助(補助率2/3)							
(2) 事業効果											
ア 温室効果ガスの排出量削減。											
イ 環境保全に対し高い意識を持つ住民への負担軽減。											
ウ 環境保全意識の醸成を図ることによる地球温暖化防止対策への寄与。											
目的別											
性質別											

歳出予算事業概要書

款	02 総務費	補正前の額	補正後の額	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	1002000000												
項	01 総務管理費							所属課名	環境政策課												
目	13 公害対策費	0	2,282	2,282	2,282	0	0	内線番号													
大	063 環境対応車への買替事業							財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施計画計上額	0						
中	00								2,282	0	0	0	0			部	ゆとりある心豊かな米子				
小	00															章	『自然』がいきいき				
細	0	節	人と自然が共生するまちづくり																		
								細	豊かな自然環境の保護と活用												
1. 事業の概要と必要性						節		本年度の財源内訳													
<p>温室効果ガスの排出量削減について、閣議決定を行った京都議定書の目標達成の約束期限(2012年)を目前とした現在、目標達成が危ぶまれている状況にある。特に民生(業務、家庭)部門においては、国も対策を急いでおり、本市としても早急な対応を求められている状況にある。</p> <p>本事業の概要は、長期間(13年以上)かつ10万キロメートル以上走行した環境パトロール車を、低公害車に更新することにより安全な走行の確保を図ると共に環境負荷の低減を図り、市民への啓発を図ることができる。</p>						区分		金額		財源		款 項 目 節 細 節		金額							
						12	役務費	46	国庫	15	02	01	01	010	2,282						
						18	備品購入費	2,236													
2. 根拠法令																					
3. 用地の状況																					
4. 基本計画との関連																					
5. 本年度の計画効果																					
<p>長期間(13年以上)かつ10万キロメートル以上走行した環境パトロール車を低公害車に更新することにより、部品交換や修繕の必要性がなくなり、安全な走行が確保できると共に現在の使用車両と比較した場合、低燃費で環境負荷の低減を図ることができる。市が低公害車を購入することによって、地域住民に対し環境保全意識の啓発を図ることができ、地球温暖化防止対策へ寄与することができる。</p>						6. 財源の説明															
						地域活性化経済危機対策臨時交付金															
目的別																					
性質別																					

歳出予算事業概要書

款	02 総務費	補正前の額	補正後の額	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	1002000000												
項	01 総務管理費							所属課名	環境政策課												
目	17 水鳥公園費	0	464	464	464	0	0	内線番号													
大	002 米子水鳥公園充実整備事業							財源内訳	0	0	0	464	0	実施	部	ゆとりある心豊かな米子	実施計画計上額				
中	00													国庫支出金	県支出金	地方債		その他	一般財源	章	『自然』がいきいき
小	00													0	0	0		464	0	節	人と自然が共生するまちづくり
細	0							画	細節	豊かな自然環境の保護と活用	0										
1. 事業の概要と必要性								節		本年度の財源内訳											
<p>【事業概要】 ラムサール条約登録湿地である中海において環境保全の象徴的施設のひとつである米子水鳥公園ネイチャーセンター内観察ホールに大型モニターテレビを2台設置する。このモニターテレビによって、つばさ池のライブ映像を多くの来場者が一同に楽しむことが可能になる。</p> <p>【事業の必要性】 現在、既に2台のモニターテレビが設置されているが、開館以来14年が経っており、機器の老朽化が目立ち、安定した映像を提供できない状況にある。このことは、来場者(特に県外者等)の施設に対する満足度を低下させることになり、リピーター客の減少を招くことが懸念され新機種を設置するものである。</p>								区分		金額		財源									
								12	役務費	6		繰入	19	01	01	19	001	464			
										がいなよなご応援基金繰入金											
										458											
2. 根拠法令																					
3. 用地の状況																					
4. 基本計画との関連																					
5. 本年度の計画効果																					
<p>【事業計画】 37型のテレビモニターを2台購入。</p> <p>【事業効果】 来園者の満足度を高めることができ、ひいては中海及び米子市の自然環境に対する保全意識の醸成を図ることが期待される。</p>																					
6. 財源の説明								がいなよなご応援基金(中海再生応援団)活用													
目的別																					
性質別																					

歳出予算事業概要書

款	02 総務費	補正前の額	補正後の額	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	1002000000								
項	01 総務管理費							所属課名	環境政策課								
目	17 水鳥公園費	0	8,558	8,558	8,558	0	0	内線番号									
大	003 米子水鳥公園ネイチャーセンター補修事業							実施 計 画	部	ゆとりある心豊かな米子	実施計画計上額						
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『自然』がいきいき							
小	00								節	人と自然が共生するまちづくり							
細	0		8,558	0	0	0	0		0	節		豊かな自然環境の保護と活用					
1. 事業の概要と必要性 平成7年10月に開園したネイチャーセンターのキャトウォーク等の外周通路部分を修繕する。当センターは環境に配慮した木造建築を採用しており、塗装等の定期的な維持補修に努めているが、建築後13年を経過しており根太等の基礎部分が腐食し、現在安全確保のため立ち入り禁止としている。しかし、当該部分は、火災及び地震等の緊急避難路として設計されている。そこで、緊急時の利用者の最低限の安全を確保するために補修・補強を行うものである。								本年度の財源内訳									
								区分	金額	財源	款	項	目	節	金額		
								15	工事請負費	8,558	国庫	15	02	01	01	010	8,558
								地域活性化・経済危機対策臨時交付金									
2. 根拠法令																	
3. 用地の状況																	
4. 基本計画との関連																	
5. 本年度の計画効果 公共施設として安全対策上の必要不可欠な処置を講ずることができる。 修繕工事 一式 8,557,500円																	
6. 財源の説明 地域活性化経済危機対策臨時交付金																	
目的別 性質別																	

歳出予算事業概要書

款 項 目	02 総務費 01 総務管理費 18 諸費	補正前の額	補正後の額	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	503000000	
					うち復活額	一般財源	所属課名	協働推進課		
		0	1,000	1,000	1,000	0	0	内線番号		
大 中 小 細	事 業 業 業 業							054 ふるさとの歴史保存継承事業	00	00
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳		
(1)事業の概要 地域の歴史を保存し、継承する事業を実施する団体に対し、米子市ふるさとの歴史保存継承事業補助金を交付する。					区分		金額	財源	款 項 目 節 細 節	金額
(2)事業効果 歴史あるふるさとを愛する心を育て、ふるさとづくりの推進が図られる。					19	負担金補助及び交付	1,000			
2. 根拠法令										
3. 用地の状況										
4. 基本計画との関連										
5. 本年度の計画効果										
(1)事業計画 米子市ふるさとの歴史保存継承事業補助金の交付 ア 補助事業者 富益町300年誌作成委員会 イ 事業内容 記念誌の発行 ウ 補助金額 1,000,000円										
					6. 財源の説明 (1)財源の内訳 一般財源による (2)事務事業評価の反映状況 評価結果...現状維持					
目的別 性質別										